



部活との両立が

学力アップと志望校合格へ

夏期講習 受講生受付中

夏休みは一学期の遅れを取り戻したり、入試対策の勉強を集中して行えるチャンス。松進の専任講師陣が、何をどうやればよいか質の高い指導をします。



中高生は、「オンライン直接指導」と「教室で直接指導」の2授業形態から選択できます(定員制)。

もちろん、すべての授業で専任講師が生徒を直接指導します。

小学部 小4〜小6

教室で直接指導コース
小学校科目、中学校科目

弱点克服から先取り学習まで専任講師が徹底指導。大人気のおもしろ理科実験ですが、今回はコロナ感染に注意し密にならないように行います。



去年の様子

中学部 中1〜中3

オンライン直接指導コース
仲間と切磋琢磨し学力をアップする授業。

松進のオンライン授業は、生徒の様子を見ながら直接指導するので、教室での対面授業とまったく変わりません。



命と学力守れ 生配信

中日新聞が取材

※詳細は裏面をお読みください。

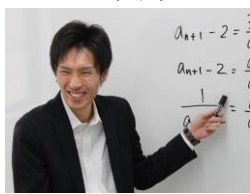
1学期の総復習、基礎学力の増強、重要問題の習得、志望校合格に向けた指導を行います。

高校部 高1〜高3

これからの試験はその場で考える力が求められます。早めの準備が大切になります。学力アップの夏。

オンライン直接指導コース

双方向授業で「ミニ二セッション」とりながら、学校テスト、大学入学共通テスト対策を行います。英語、数I・A、数II・B、国語現代文、古文・漢文、生物、化学から選択。



教室で直接指導コース

中1〜高3

学校授業の補習から入試対策まで生徒の目的に合わせて指導。※コロナ感染防止の点から完全定員制とします。

中学生 英語、数学、国語、理科、社会から選択。
高校生 英語、数I・A、数II・B、数III、現代文、古文・漢文から選択。



新規夏期講習受講生が継続して入会する場合は入塾金を免除いたします。減額制度(仲良し割、兄弟減額、母子減額)があります。詳しくは各教室までお問い合わせください。

入試情報特急便

☆3月に実施された公立高校

後期選抜試験の平均点と分析

公立高校入試平均点は、国語72.7点、数学55.9点、理科53.2点、社会68.1点、英語53.6点。思考力・判断力・表現力を問う問題がここ数年続き、学生たちが問題傾向に慣れてきた結果なのか、英語を除いた4教科で平均点が上がりました。

国語が最も高く理科が最も低いという結果はここ3年、同じ状況が続いています。

これは、国語で思考力を問う作文問題が比較的容易であった一方、理科は与えられる文章や資料の量が多く、読解力や分析力を必要とする問題が増えてきたことが理由として考えられます。対策を行っていない受験生は、かなり難しく感じたと感じています。



伊那北高校

ランキング上位校の受験を希望している学生は、今年の国語や社会のように平均点が高い教科では基本問題を確実に正解することが求められ、不注意なミスが合否に影響する場合がありますのでご注意ください。

また、ここ数年、英語では点数が高い学生と低い学生の二つの層に分かれていたのですが、今年もその傾向は続いているようです。英語は「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を意識した日々の学習が大切になります。

英語が苦手な学生に共通していることは、「語彙力の不足」です。英語は言葉です。勉強方法で悩んだら、言葉の意味や使い方を中心に勉強を組み立ててみてください。

きつと光が見えてくることでしょう。

☆変わる大学入試

新型コロナウイルスで休校が長期化し、延期論もあった大学入学共通テストですが、第1日程とコロナによる学習遅れに対応した第2日程で実施されるようです。

休校で学習の遅れが出たため、公平な試験の実施実現に向けてきちんとした対応が文科省と大学に求められています。

共通テストの記述問題の採点で不透明な点が多々露呈したり、英語民間検定試験の安易な利用などで批判を受けた文科省。受験生に寄り添う対応を今後も続けてもらいたいものです。



実施予定の共通テストですが、センター試験と違う点があり、注意する必要があります。

英語は発音・アクセント、語句整序などを単独で問う問題がなくなります。そして「リーディング」と「リスニング」の配点がそれぞれ100点となり、センター試験と比べてリスニングの配点比重が高くなります。ただし合否判定の際の配点比率は各大学で自由に決められるため、志望大学の入試要項で確認してください。

数学も「数学I」「数学II・A」の試験時間が10分長くなります。

これは、試験で数学的な問題解決過程を重視するため、考える時間が必要との判断からです。センター試験では知識が重視されていましたが、共通テ



ストは知識を前提に思考力、判断力、表現力などが幅広く問われる入試になります。すべての教科に共通しているのは、出題形式が変化しようとも基礎力なくして学力アップはないということです。「思考力・判断力・表現力が問われる」という言葉に踊らされずに、基礎をしっかり固めることが学力増進、志望大学合格への第一歩です。がんばりましょう。

指導だけではありません 比べてください

松進では科目指導以外に塾生や保護者にいろいろなことを実施しています。

☆小学生は

保護者生徒面接／理科実験／何かやろう会／クリスマス会他

☆中学生は

保護者生徒面接／夢面接／高校受験進路面接／テスト直前学習会／勉強やり方講座／高校入試直前特訓／理科実験／高校入試進学指導会／合格判定テスト他



☆高校生は

大学受験進路面接／三者、二者個別面接／勉強やり方講座／テスト直前学習会／夢面接／大学入試対策特別講座／大学入試進学指導会合格判定テスト他

大学受験生の進路面接を終え、現在は高校1年生と2年生に学習や進路について三者あるいは二者面接を行っている最中です。

高校受験を迎えた中3の親子に高校入試進学指導会を6月に行いました。

コロナ感染防止を第一に考え、すべてをオンラインで実施しました。

好評のオンライン授業 無料体験受付中

コロナ感染防止対策にいち早く取り組み、県下の学校や塾に先んじて3月からオンライン直接指導を開始しました。

その取り組みが注目され、SBC信越放送、信濃毎日新聞、中日新聞、地元伊那ケーブルテレビジョンや地元紙で報道されました。



生徒の興味や関心を高めるために早期から先生たちみんまで工夫を重ね、全国の学校で急速に導入が進められているICT(情報通信技術)を活用し、視覚や聴覚に訴える臨場感があるわかりやすい指導を先生たちが生徒に直接行っています。



保護者・学生の感想の一部をご紹介します。

保護者様の声

◆オンラインの授業になり、私も様子を見ることができましたが、最初から丁寧に説明していただき、わからなかったところもさかのぼって、わかりやすく教えてもらえていたことがありがたく、親としても安心しました。

本人も毎回、よくわかると言っています。先生に教えていただいた事をノートにメモしたり、まとめたりしています。

わかるとやる気になり一生懸命覚えたり、宿題もがんばったりするので、良い学習をしていると思っています。ありがとうございます。

◆まず第一に、松進の教室に行き来

する時間を学習時間に充てられるのが良いと感じました。

また、今まで松進の教室で共に学習してきた生徒さん以外のいろいろな地域の生徒さんと学習することで、緊張感がうまれたり、いろいろな地域の学習の進み具合やテストについて情報を得ることができるともありがたいと思います。



◆オンライン授業でも丁寧に説明を受けることができ、理解不足だった部分が補えてとても良いようです。オンライン授業のおかげで学校の授業が分かりやすいつつおもしろいです。

子供たちはオンライン授業にはすぐに慣れることができたようで、親から見ても特別な問題は無いと思います。

◆コロナにいち早くオンライン授業で対応をして頂き、本当にありがとうございました。

小学生の声

◆いつも楽しく授業が受けられています。わかりやすくておもしろいです。



◆離れた場所においても分かりやすく教えてくれるからちゃんと理解できます。

中学生の声

◆塾に行っていた時と同じように授業が受けられているし、授業が面白いです。

塾では周りに人がいて発言しづらかったけれど、オンラインだと質

問や発言がしやすいです。(H君)

◆授業はわかりやすいし、先生の話がとても面白いです。

部活で疲れていてもギリギリまでまったりできて家で受けられれます。

アプリの機能を使って手をあげたり、書いたものを共有して気持ちよく伝えることができるのも面白いです。(Iさん)



◆教室で直接指導している時と全く同じように指導してもらっています。



同じ学年の人たちと受講できているので、切磋琢磨しながら進めることもとても良いと思います。(K君)

◆歴史の資料や地図やグラフをスクリーンに映して教えてくれるのでわかりやすいです。先生が授業で自作の絵を使って説明してくれるのですが、その絵がおもしろくて変も、思わず笑ってしまいます。

オンラインは思っていた以上にいい感じでした。(Tさん)

高校生の声

◆オンラインの授業は単刀直入に言って面白いです。



英語に関していうと、構文や文法は本を見れば載っていますが、曖昧な点をオンライン授業を通して自覚する事ができます。読み方も適宜伝えてくれるので、課題での読み方が少しずつ変わってきました。

余談ですが、学校のテストで塾で習った事が出題されて、びっくりを感じました。

数学もオンライン授業の方が充実している感があります。(W君)

◆先生と同じ時間を共有するので、孤立感による不安がないのがリアルタイムの良さです。

また、画面のスクリーン・ショット機能を使えば、ノートに書き写す手間が省け、時間を効率的に使えるのもいいです。

それに、自宅なので周りを気にせず勉強できるし、時間(夕飯の)に余裕ができました(笑)。(Sさん)

オモロ松進のしゅんしゅん

ユウシ先生、タブレットを使って何やらやっています。

「おつ、何してんの?」
「オンライン授業の準備をしているんです」

「ふん。子供たちが『ユウシ先生のオンライン授業はおもしろくてわかりやすい!』って言うってだよ」とタブレットをのぞく大槻先生。

「...ギョエス!これ...絵?...エー! (タジャレ)」

「これは小学校の教科書に載っている宮沢賢治が田植えをしているところです。」



今は農業も機械化されて、田植えのお手伝いをする子供たちはほとんどいないじゃないですか。中には昔の人たちがやっていた田植えの様子を知らない子がいるかと思っ、絵にしてみましたけど、いい味、出てますよね(苦笑)

「美術の通知表は1だったっけ」
「1?違います!2です」
ガクっとする大槻先生。
「ところで宮沢賢治さん、鼻から何か出ているけど」



「あ、それ、鼻血笑。疲れた様子を表してみました」
「えらいこつてす絶句。こ、この絵は何ですか」

「あ、これはですね、清少納言の

枕草子の『夏は夜』の場面です。光

りながら飛んでいる虫は風情がありますね」



「それがホタル? え! これ! 変な浮遊物にか見えんけど。」

「これはですね、『秋は夕暮れ』の場面でカラスが巣に帰る様子。趣がありますね。すばらしい!」

と自画自賛のユウシ先生。

「山ぎは」と
『山の端』の違いを理解してもらおうと思って『山の端』を強調してみました。



他の、見たそつですね、落ち込むこともなく、ドヤ顔で説明続行。

「これは室町時代に農民や馬借たちが起こした一揆で正長の土一揆の様子です」

「ギョ! 右の人、頭にドンブリをかぶっているけど...」

「ドンブリ? 笠ですけど、ナ



二力。まさにですね、笠です」と安倍首相風に返すユウシ先生。

「この眉毛が濃くてかわいくないオッサン、なんかオレに似ているんだけど」

「よく試験に出るので強烈に印象付けようと思つて。ププ」

あきれて口をあんなぐり開けたままの某O槻先生でした。

